



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社クリエアナブキ
 コード番号 4336 URL <https://www.crie.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上口 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 別宮 貴仁

TEL 087-822-8898

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	3,196	0.8	90	41.5	107	14.1	63	21.2
2019年3月期第2四半期	3,221	3.9	64	36.6	94	9.0	52	8.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 69百万円 (15.0%) 2019年3月期第2四半期 60百万円 (8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	27.45	
2019年3月期第2四半期	22.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	2,047	1,136	52.1	460.99
2019年3月期	2,105	1,094	48.7	443.50

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,066百万円 2019年3月期 1,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		10.00	10.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,720	3.8	106	7.0	145	11.4	82	13.4	35.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	2,340,000 株	2019年3月期	2,340,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	27,473 株	2019年3月期	27,473 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	2,312,527 株	2019年3月期2Q	2,312,527 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものですが、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、個人消費が持ち直し、設備投資も緩やかに増加するなど、景気は緩やかな回復基調にあります。人材サービス業界に関しては、有効求人倍率が1.6倍前後で高止まり、完全失業率が2%台の低水準で推移するなど、人手不足感の強まりを受けて、雇用情勢は改善を続けております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループは、新たなコーポレートスローガン「ひとに翼を。」を掲げ、女性の労働参加率の向上や海外人材の活用など、中四国の労働市場の現状に即した地域経済の活力の維持・向上に必要な施策の展開により、中四国での多様な雇用機会の創出を通じた収益の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、中国地域での人材派遣売上の低迷などから、売上高が3,196,193千円（前年同四半期比99.2%）と僅かに減少したものの、物流関連アウトソーシング事業などの総利益率の改善により、営業利益は90,774千円（同141.5%）、経常利益は107,688千円（同114.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は63,475千円（同121.2%）といずれも前年同四半期比で増益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

各セグメントの営業利益の合計額は300,961千円ですが、全社費用等の調整（調整額△210,186千円）により、四半期連結財務諸表の営業利益は90,774千円となっております。

① 人材派遣事業

当事業の売上高は1,708,576千円（前年同四半期比94.4%）、営業利益は184,065千円（同97.5%）となりました。

当社グループの主力である当事業では、強みを有する事務系派遣や紹介予定派遣に加えて、軽作業系の派遣、子育てや家事と両立しやすい時短派遣にも注力いたしました。また、子育て世代の女性にすこやかな働き方を提案するプロジェクト「ママ友ワーキングラボ」において「親子でおしごと相談会」を継続的に開催するなど、女性就業支援への取組みを一段と強化いたしました。中国地域での売上低迷から、前年同四半期の実績を下回りました。

② アウトソーシング事業

当事業の売上高は1,217,710千円（前年同四半期比109.0%）、営業利益は76,690千円（同241.4%）となりました。

株式会社クリエ・ロジプラスが営む物流関連アウトソーシング事業では、主たる取引先からの受注が底堅く推移する中、他の大口取引先からの受注が増加してきております。また、当社単体のアウトソーシング売上も増収となったことから、前年同四半期の実績を上回りました。

なお、当社は、株式会社ママスクエアとの間に締結したフランチャイズ・チェーン加盟契約に基づき、前期の「クリエ×ママスクエア高松」に続いて、中国地域で初めてとなる未就学児の母親を対象とした見守りスペース付オフィス「クリエ×ママスクエア広島」を当社広島支店事業所内に開設し、2019年7月から事務系業務の請負を開始しております。

③ 人材紹介事業

当事業の売上高は88,028千円（前年同四半期比96.3%）、営業利益は26,814千円（同98.8%）となりました。

収益性の高い当事業では、東京と大阪の「中国・四国U I ターンセンター」を軸に、自治体との連携強化を図りながら、2大都市圏から中四国への人材還流に繋がるU I ターン転職支援を積極的に推進いたしました。また、地域在住の幅広い層の求職者を対象とした中四国域内での転職支援にも注力いたしました。成約件数が全般的に伸び悩み、前年同四半期の実績を下回りました。

なお、海外人材活用の取組みの一環として、前期末からベトナム人の高度人材を地域企業に紹介するサービスを開始いたしました。また、2019年9月には、同年4月施行の改正出入国管理法に基づいて特定技能外国人の就労支援を行う登録支援機関としての登録を受けております。

④ 採用支援事業

当事業の売上高は158,154千円（前年同四半期比87.7%）、営業利益は8,983千円（同35.6%）となりました。

株式会社採用工房を中核企業として首都圏や近畿圏で営んでいる当事業については、企業の求人・採用に係る代行業務において業況が急変した一部取引先からの受注が著しく減少したことなどから、前年同四半期の実績を下回りました。

⑤ その他

再就職支援、研修・測定サービスなど、上記の各セグメントに含まれない事業の売上高は23,723千円（前年同四半期比101.1%）、営業利益は4,407千円（前年同四半期は629千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

① 資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ58,313千円減少して2,047,208千円となりました。これは、現金及び預金の減少(1,147,868千円から1,115,653千円へ32,215千円減)などによるものであります。

② 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前期末に比べ100,428千円減少して910,551千円となりました。これは、未払費用の減少(446,036千円から400,895千円へ45,141千円減)などによるものであります。

なお、有利子負債の期末残高は、前期末に比べ2,000千円減少して86,000千円となりました。

③ 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前期末に比べ42,115千円増加して1,136,656千円となりました。これは、配当金の支払い及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の変動(676,011千円から716,361千円へ40,349千円増)などによるものであります。

なお、自己資本比率は、前期末より3.4ポイント上昇して52.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想は、本資料の発表日現在、2019年5月10日付 当社「2019年3月期 決算短信」にて公表いたしました数値から変更はありません。

なお、最近の業績動向については、本資料及び2019年11月8日付 当社「2020年3月期 第2四半期累計期間 業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,147,868	1,115,653
売掛金	665,671	634,446
仕掛品	123	13,107
原材料及び貯蔵品	1,230	856
前払費用	19,271	23,306
未収還付法人税等	8,156	-
その他	8,345	10,145
貸倒引当金	△912	△1,054
流動資産合計	1,849,755	1,796,461
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	54,966	58,525
工具、器具及び備品(純額)	9,559	10,614
有形固定資産合計	64,525	69,140
無形固定資産		
のれん	9,882	6,040
ソフトウェア	27,013	24,870
電話加入権	4,525	4,525
無形固定資産合計	41,421	35,436
投資その他の資産		
投資有価証券	2,311	2,425
繰延税金資産	75,612	72,360
差入保証金	71,004	70,494
その他	889	889
投資その他の資産合計	149,818	146,169
固定資産合計	255,765	250,746
資産合計	2,105,521	2,047,208

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	18,000	16,000
未払金	89,527	76,895
未払費用	446,036	400,895
未払消費税等	85,862	96,675
未払法人税等	40,574	41,033
預り金	43,276	8,863
賞与引当金	92,395	72,521
その他	5,611	6,925
流動負債合計	821,284	719,810
固定負債		
長期借入金	70,000	70,000
退職給付に係る負債	119,695	120,741
固定負債合計	189,695	190,741
負債合計	1,010,980	910,551
純資産の部		
株主資本		
資本金	243,400	243,400
資本剰余金	112,320	112,320
利益剰余金	676,011	716,361
自己株式	△6,679	△6,679
株主資本合計	1,025,052	1,065,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	564	644
その他の包括利益累計額合計	564	644
非支配株主持分	68,924	70,610
純資産合計	1,094,541	1,136,656
負債純資産合計	2,105,521	2,047,208

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,221,669	3,196,193
売上原価	2,588,660	2,532,347
売上総利益	633,009	663,845
販売費及び一般管理費	568,879	573,071
営業利益	64,129	90,774
営業外収益		
受取利息	65	4
受取配当金	19	19
受取賃貸料	1,206	206
助成金収入	28,678	15,419
その他	829	1,709
営業外収益合計	30,798	17,359
営業外費用		
支払利息	515	419
為替差損	-	26
営業外費用合計	515	445
経常利益	94,413	107,688
特別損失		
固定資産除却損	573	-
特別損失合計	573	-
税金等調整前四半期純利益	93,839	107,688
法人税、住民税及び事業税	26,783	35,299
法人税等調整額	6,899	3,217
法人税等合計	33,683	38,516
四半期純利益	60,156	69,171
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,781	5,696
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,374	63,475

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	60,156	69,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	79
その他の包括利益合計	58	79
四半期包括利益	60,214	69,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,433	63,554
非支配株主に係る四半期包括利益	7,781	5,696

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,809,605	1,116,767	91,392	180,435	3,198,200	23,468	3,221,669	-	3,221,669
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	743	-	2,577	12,300	15,621	-	15,621	△15,621	-
計	1,810,349	1,116,767	93,970	192,735	3,213,822	23,468	3,237,290	△15,621	3,221,669
セグメント利益又は セグメント損失(△)	188,871	31,766	27,143	25,248	273,030	△629	272,400	△208,270	64,129

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益又はセグメント損失の調整額△208,270千円には、セグメント間取引消去2,264千円、のれん償却額△552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△209,982千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	人材派遣事業	アウトソー シング事業	人材紹介事業	採用支援事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	1,708,576	1,217,710	88,028	158,154	3,172,470	23,723	3,196,193	—	3,196,193
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	743	—	—	12,300	13,043	18	13,062	△13,062	—
計	1,709,320	1,217,710	88,028	170,454	3,185,513	23,742	3,209,256	△13,062	3,196,193
セグメント利益	184,065	76,690	26,814	8,983	296,553	4,407	300,961	△210,186	90,774

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再就職支援事業、研修・測定サービスなどを含んでおります。

2. 調整額は、次のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額△210,186千円には、セグメント間取引消去1,910千円、のれん償却額△552千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△211,544千円が含まれております。

(2) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。